

(特)日本年金機構

現 任 者							任命予定者			任命権者	発令予定日
役 職	氏 名	年 齢	当初就任 年月日	任 期	任期満了 年月日	前 歴	氏 名	年 齢	前 歴		
理事長	大竹 和彦	66	R6.1.1	2	R7.12.31	農林中央金庫代表理事専務 (株)農林中金総合研究所取締役 会長 協同住宅ローン(株)取締役会長	再任			厚生労働大臣	R8.1.1
監 事	工藤 政和	63	R6.1.1	2	R7.12.31	(独)地域医療機能推進機構内部 統制・監査部長 日本年金機構本部監査部監査アド バイザー	再任			厚生労働大臣	R8.1.1
監 事 (非常勤)	矢崎 ふみ子	76	R4.1.1	2	R7.12.31	税理士(矢崎ふみこ税理士事務所) 北野建設(株)社外取締役	再任			厚生労働大臣	R8.1.1

※年齢はR8.1.1時点

任命理由

○大竹和彦理事長

大竹和彦氏は、高いマネジメント能力と行動力、対話を重ねながら共通の理解を築く姿勢を通じて、年金業務やデジタル化への対応に着実な成果をあげてきている。

年金業務については、国民年金保険料の納付率向上の継続や厚生年金の未適用事業所への加入指導、適用事業所の調査を通じた届出の適正化等により厚生年金保険の適用者数を増加させるとともに、電子申請の利用促進において、中小規模事業所に対する利用勧奨や利用環境の改善に向けた取組を実施する等、デジタル化へ積極的に取り組むなど、基幹業務の実績向上に精力的に取り組んでいる。

他方、10年後の組織のあるべき姿を重要達成目標として策定し、短期・中期の計画から順次工程表を整備し、施策を具体化する「チャネル戦略」により、年金機構のチャネル体系の総合的な見直しを推進しており、今後、長期的な施策の立案・具体化が課題となっている。

この他、本年度に公布された年金制度改革への適切かつ確実な対応や令和12年1月の稼働を目指している政府最大級の年金記録管理システムの刷新等、長期的に一貫性が求められる主要課題に同時に対応していく必要がある。

引き続き課題の多い中、日本年金機構の運営に着実な成果を上げてきている同氏が引き続き運営にあたることが最適であり、理事長として任命するものである。

○ 工藤政和監事

工藤政和氏は、民間企業及び独立行政法人等における監査業務の経験等が高く評価され、令和5年10月に日本年金機構の監査アドバイザーとして採用された。同氏は、令和6年1月から現職に就き、その豊富な知識・経験を遺憾なく発揮し、的確な監査業務を実施しているところであり、引き続き監事として任命するものである。

○ 矢崎ふみ子監事（非常勤）

矢崎ふみ子氏は、税理士法人に長年勤務し、監査について豊富な知識と経験を有している。同氏は、令和4年1月から現職に就き、その豊富な知識・経験を遺憾なく発揮し、的確な監査業務を実施しているところであり、引き続き監事（非常勤）として任命するものである。

日本年金機構理事長及び監事の選定について

理事長及び監事の選定については、外部有識者の意見聴取を経た上で決定した。

外部有識者の属性は以下のとおり。

- ・大学教授 2名
- ・弁護士 1名
- ・社会保険労務士 1名

計 4名